



縁(えん)プロジェクト

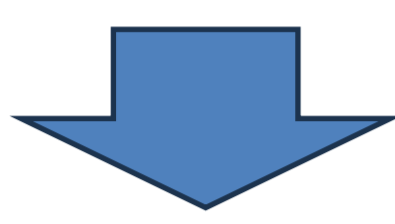
中心市街地から離れた拠点でお手伝い



高松美香 長田尚也

福知山公立大学 情報学部 (指導教授 山本吉伸)

福知山公立大学には全国から学生がやって来る



ほぼすべて、**駅周辺の店や大手店舗**でのアルバイト

店長がそもそも地元民ではないことも多い

大学生と地元民との**交流の機会**は意外と少ない

名前を憶えあうような関係性 ← なかなか生まれない

多くの大学生の就職先は都市部に集中

このまま卒業→北近畿に戻る理由がない

しかし!

もしSNS等で個人的な

縁が繋がっていたら...



次のステップは北近畿
が候補に挙がるはず

たとえば大江町毛原地区は

12戸の小さな集落だが
「縁側喫茶」を開催する
など交流づくりに積極
的な地域。学生のアル
バイトを歓迎している



毛原のように**中心市街地から離れた拠点での活動**を応援したい

最大の難関は移動手段

教員が車で引率
するしかない



そこで!

折畳式電動アシスト+電車による実験

毛原で月二回開催される「縁側喫茶」に、自転車でアルバイトにしてみる

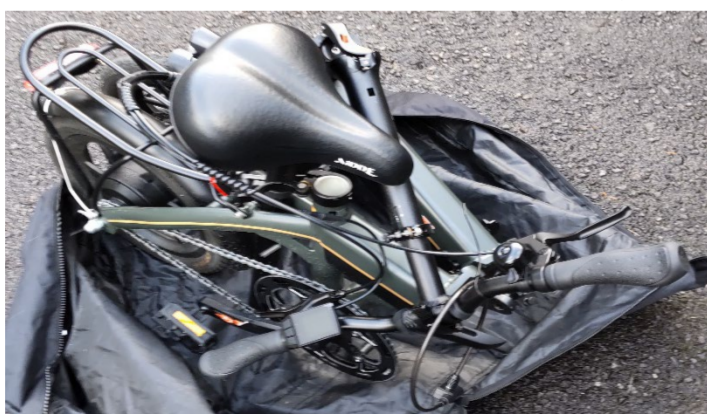
丹鉄400円



15分ほどの峠道



福知山駅
から輪行
バッグ



本人たちが得たもの

春～秋なら自転車で意外と遠くまで行けることがわかった
だが電車での輪行にはまだ課題があるように感じた
地域の高齢者からいろんな豆知識を聞いた
名前ももちろん憶えてもらえた・PBLのネタをみつけられた
雪・大雨時に現地の人に救援に来てもらう体制の必要性

